

かぎた 美智子

MICHIKO KAGITA

昭和35年1月1日

近畿大学附属高等学校 普通科 卒業

大阪デザイナー学院服飾科 卒業

国際エスティック連盟 INFAschool日本校 卒業

資格

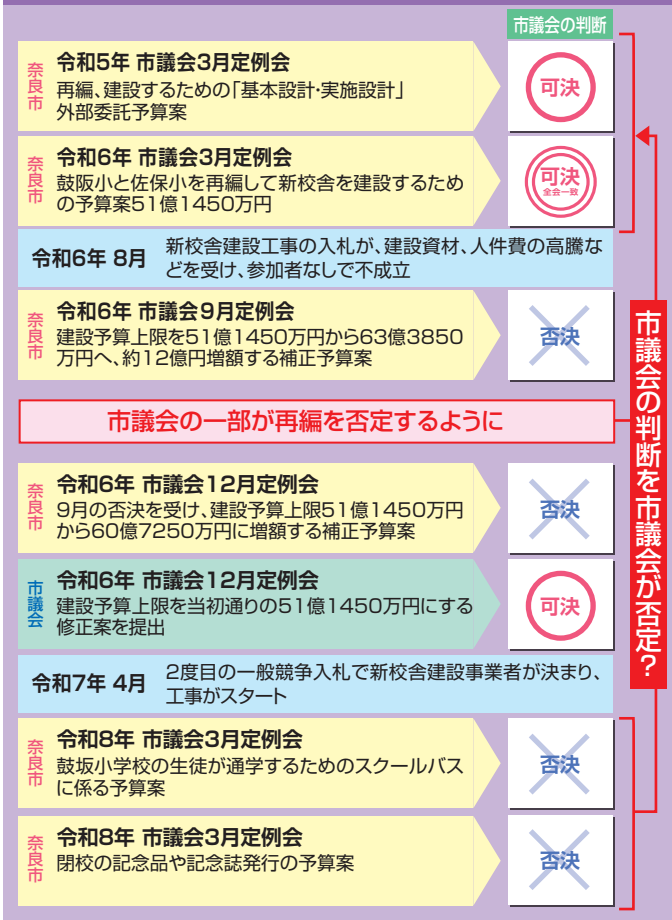
ホームヘルパー 2級

職歴

西奈良中央病院 訪問介護課
株式会社RoundKey 代表取締役



鼓阪小学校と佐保小学校の再編をめぐる流れ



鼓阪小学校と佐保小学校再編をめぐる市議会が市議会の意思を否定する形に

奈良市は現在、鼓阪小学校と佐保小学校を統合し、新しい小学校を現佐保小=写真=を建設しています。地元の方々のご尽力で新しい小学校の名称や通学体制なども固まりつつあります。

こうした中、市議会3月定例会には、遠距離になる鼓阪小校区の児童らが登下校に使用するバスを準備する予算などが計上されましたが、賛成は私を含めて少数で、否決されました。

そもそも、現在建設している校舎は、少子化に伴い、将来的にも児童数が激減すると試算される鼓阪小の子どもたちの教育環境が悪化しないよう佐保小と再編するため、市は令和5年3月(令和4年度末)に再編、新校舎を建設するための「基本設計・実施設計」の業務委託を市議会に提案し、市議会はこれを可決しています。

さらに令和6年3月(令和5年度末)には、鼓阪と佐保小を再編して新校舎を建設するための予算51億円を市は市議会に提案。市議会はこれ

を全会一致で可決しました。

その後、建設のための予算枠が、建設資材、人件費の高騰などを受けて「足りない」と判断した市は、市議会に総事業費の増額を市議会に求めましたが、市議会はこれを否決。建設の予算は、51億円を上限だと、市議会が市に示した形です。

この動きと同時に市議会の一部では「鼓阪小の統廃合はいかがなものか」「統廃合を再検討すべき」などと、市議会自ら可決した再編を否定するようになりました。市議会が自ら決定したことを市議会が否定するいびつな形と言えます。

令和7年3月(令和6年度末)の市議会で市議会は再編は認めないとの意思を示し、当初の市議会の意思決定から180度異なるいびつな判断になっているといわざるを得ません。

私は今後も政治的な思惑や対立ではなく、子どもたちと地元の将来を主軸にし、スムーズな再編への移行に努めていきます。



多聞城が市指定文化財に登録

松永久秀が築城した法連町にある多聞城跡が3月、市文化財保護審議会を経て、市指定文化財に指定されました。これまで大和・多聞城研究会の皆さまや地元の方々を中心に、市指定文化財に登録を求める署名活動など、ご尽力をいただきました。



自宅で認知症サポーター講座を開催

認知症を正しく理解し、患者本人やご家族を見守る「認知症サポーター」の養成講座を3月、私の自宅で開催いたしました。福祉事業所のご協力の下で、同僚議員をはじめ、地域の方々のご参加をいただき、認知症を取り巻く現状や、自分たちが寄り添えることなどを学びました。



監獄ミュージアムオープン

奈良市般若寺町でラグジュアリーホテル建設が進んでいる国の重要文化財「旧奈良監獄」の保存活用事業で歴史紹介や展示を行う「奈良監獄ミュージアム」が4月、オープンし、式典に参加しました。